

21世紀文明研究セミナー

市民による 防災情報の発信・受信

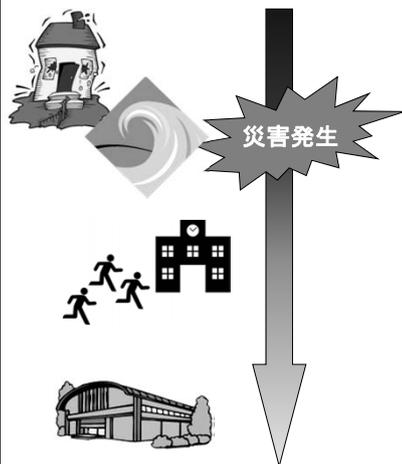
公益法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構
人と防災未来センター
宇田川真之

本日の内容

1. はじめに
 - 情報の意味
2. 減災情報・防災情報
 - 放送メディア・通信メディア
 - 広域情報・ローカル情報
 - 平常時・緊急時・復旧・復興期

防災・減災情報

(平常時、災害時、復旧・復興期)



- 平常時の情報
 - 防災教育・啓発
 - ハザードマップ
- 災害危険・発生時の情報
 - 気象警報、避難指示
- 復旧・復興期の情報
 - 安否確認
 - 生活情報(給水など)
 - 復興まちづくり
 - 伝承

北海道南西沖地震

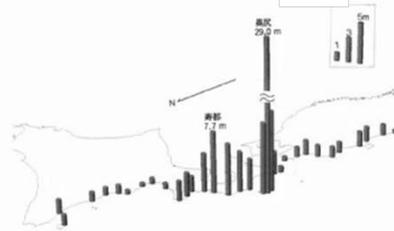
(被害状況)

■ 青苗地区

- ・犠牲者: 107名(行方不明20名)
- ※震災前1,401名(504世帯)



「北海道南西沖地震調査報告書」東京大学新聞研究所

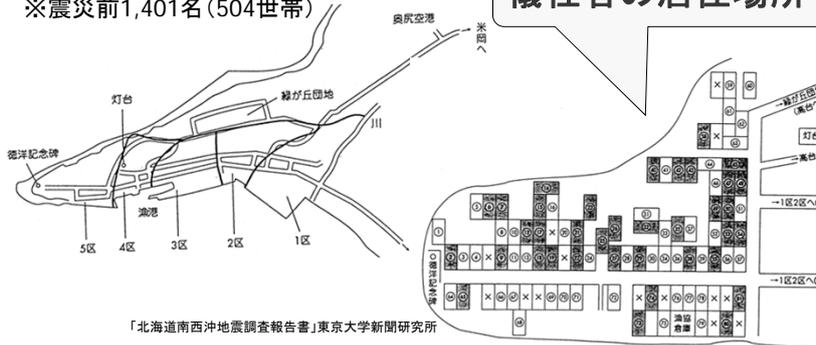


北海道南西沖地震 (被害状況)

■ 青苗地区

- ・犠牲者: 107名 (行方不明20名)
※震災前1,401名 (504世帯)

犠牲者の居住場所

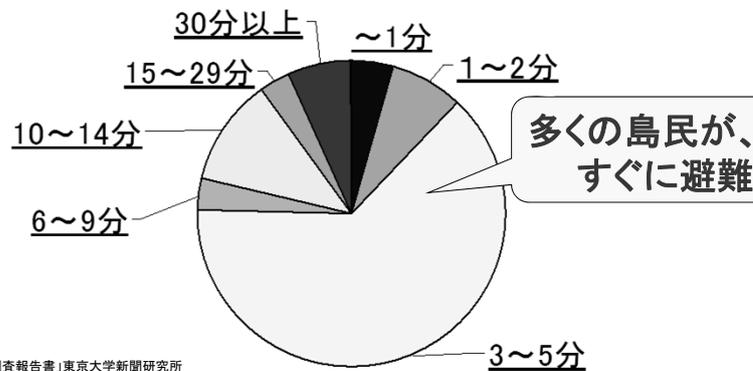


高台から遠い方でも助かっている一方で。。。

北海道南西沖地震 (住民行動)

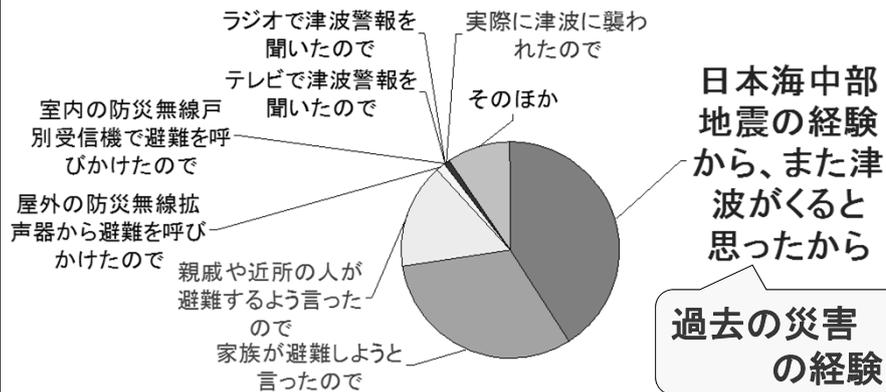
■ 避難行動 (青苗地区住民アンケート: 204名)

Q. いつ避難しましたか？



北海道南西沖地震 (住民行動)

Q 避難したのは、なぜ？

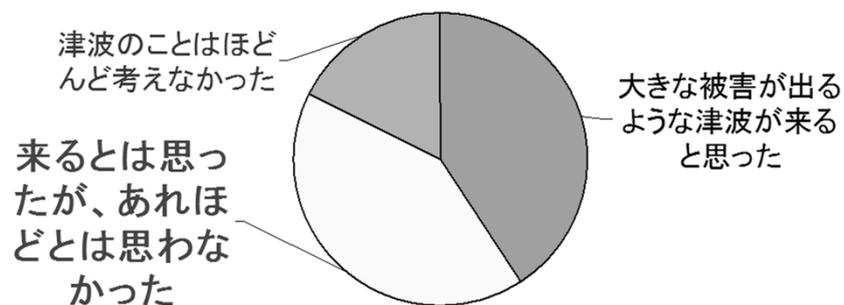


日本海中部地震の経験から、津波は予期していたが。。。

「北海道南西沖地震調査報告書」東京大学新聞研究所

北海道南西沖地震 (住民意識)

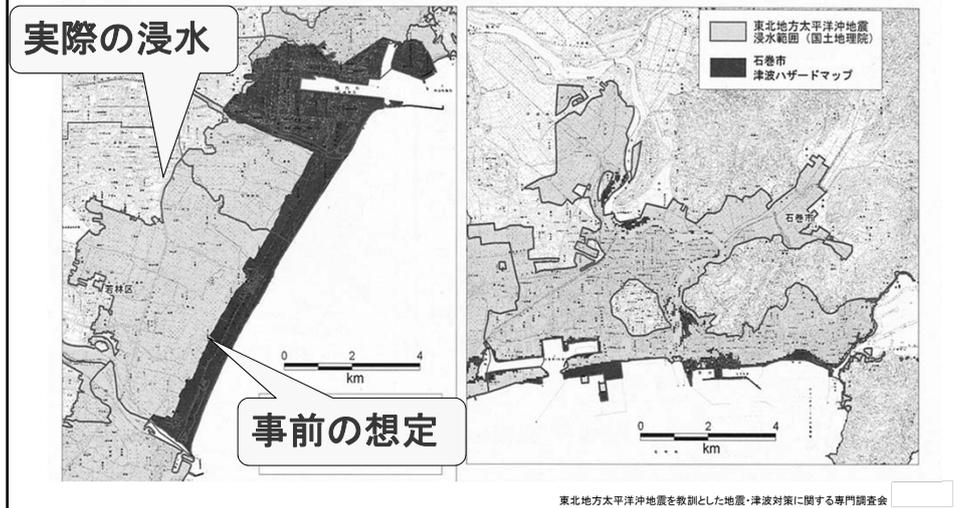
■ 津波の予期(青苗地区住民アンケート:204名)



「北海道南西沖地震調査報告書」東京大学新聞研究所

日本海中部地震の経験から、津波は予期していたが、高さについては、

東日本大震災 (概要:津波 遡上高)



東日本大震災・北海道南西沖地震 (教訓:防災情報)

- 揺れがあったら、すぐ避難
 - 災害前の啓発・防災教育
 - 災害後の伝承
 - (平常時) 減災情報の周知
- 津波警報・避難勧告の伝達
 - 迅速な情報の発表と伝達
 - 住民が利用しやすい情報内容
 - (緊急時) 防災情報の伝達

阪神でも大切

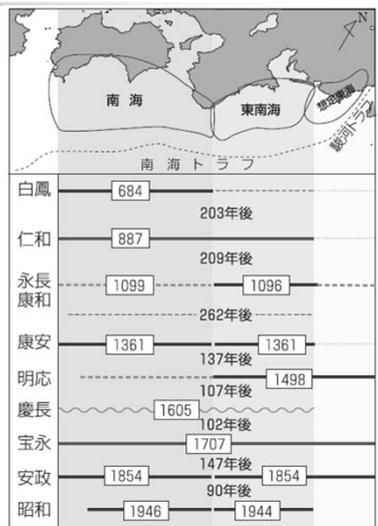
地震による被害 (海底でおこる地震)

- だいたい同じ場所で
繰り返し起こる
- 数十～数百年の
間隔で起こる
- 古文書の記録から分かる



地震による被害 (南海トラフの巨大地震)

- 南海トラフ
 - 1944年の昭和東南海地震、1946年の昭和南海地震からも65年近くが経過。
 - 昭和南海地震が小規模であったため、早めに起こることが懸念
 - これら地震が連動して、同時発生の可能性も



「地震と津波」(気象庁)

大阪市の津波碑 (安政南海地震)

地震が発生しても水の上なら安心だと小舟に乗って避難している人もいたところへ、.....日暮れごろ、雷のような音とともに一斉に津波が押し寄せてきた。



大黒橋から西の道頓堀川...一面あっという間に壊れた船の山ができ、川岸に作った小屋は流れてきた船によって壊され、その音や助けを求める人々の声が付近一帯に広がり、救助することもできず、多数の人々が犠牲となった。

その昔、宝永四年十月四日の大地震の時も、小舟に乗って避難したため津波で水死した人も多かったと聞いている。長い年月が過ぎ、これを伝え聞く人はほとんどいなかったため、今また同じように多くの人々が犠牲になってしまった。

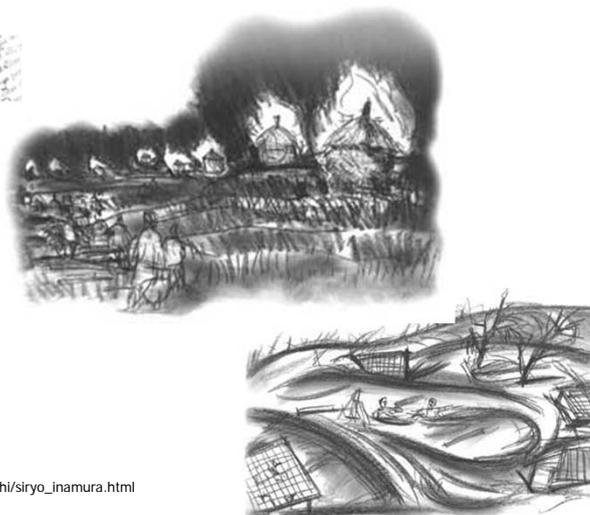
今後もこのようなことが起こり得るので、地震が発生したら津波が起こることを十分に心得ておき、船での避難は絶対してはいけない。

稲むらの火 (安政南海地震)

稲むらの火



モデル
浜口梧陵
(浜口儀兵衛)



http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamuranohi/siryo_inamura.html

学校での防災教育：防災マップ (市立の小学校と高校の協同)

Kobe municipal SHINKO senior high school
神戸市立神港高等学校

メニュー
トップページ
お知らせ (New!)
学校案内
普通科
情報処理科
部活動
進路状況
沿革史
入試
証明書の発行
学校評価
同窓会
連絡先・交通

学校連絡先
◆ 神港高校
〒652-0043
兵庫県神戸市兵庫区
金下1丁目3-16-1
Tel. 078-579-2000
Fax. 078-579-2029

情報処理科
ブロードバンドのネットワークで結ばれた高度情報化社会では業界や分野を越えた情報処理が日常化し、より高度な知識や技術を活用する能力や豊かな創造力が求められています。情報処理科ではこの高度情報化社会に対応するため、企業人として必要なビジネスの教養を身に付けた情報処理技術者の育成を目標としています。

OSS(オープンソースソフトウェア)やWeb2.0(次世代のインターネット)などの最先端の情報教育に取り組み、地元企業や小学校と協力してWebサーバやWebサイトも作っています。

情報教育の3つの柱
1. ビジネス・コンテンツ系
ビジネスソフト
・本番研修
・業務連携
・データベース
・プレゼンテーション
マルチメディア
・フラッシュ
・イラスト
・アニメーション
・3DCG(3次元コンピュータグラフィックス)
・アニメーションソフト
・Web制作(Web)系
・Web(コンピュータミュージック)
・DTP(デジタルビジュアル)
・デザイン(グラフィック)

ウェブ、表計算、データベースなどの会社のオフィスで必須のソフトウェアを活用する知識と技術を身に付けます。また、ビジネスで不可欠なインターネットやE-Mailなどのネットワーク、2D・3DやFlashなどのコンピュータグラフィックについても学びます。

こべっこマップ 10秒後に自動ジャンプします

世界へ情報発信!
(集合知の情報発信)

神戸市立の小学校 (地域の生きた情報)
神戸市立神港高等学校 (最新の情報の技術)

Web 2.0
Google (Google Maps API)

すでに、地域の小学校と協同で、地域情報をインターネットGISで発信

学校での防災教育：防災マップ (市立の小学校と高校の協同)

■ こべっこマップ(神港高校) <http://kobekkomap.web.fc2.com/>

魚崎小学校

地図の種類を選択
 お店や会社
 自然や公園
 施設や学校
 歴史や伝説
 通学路の安全

家かいはば
山かいはば
川かいはば

魚崎北町

地図データ ©2010 ZENRIN

地域を知る (まち歩きによる観察)

■ まち歩きによる観察



地域を歩いて、危険な箇所や、防災施設などを発見・確認。

地域を知る (まち歩きによる観察)

■ 検討テーマ

1. この街の
防災上の特徴は？
 - 危険なところ
 - 良いところ
2. 今後に必要な
防災対策は？



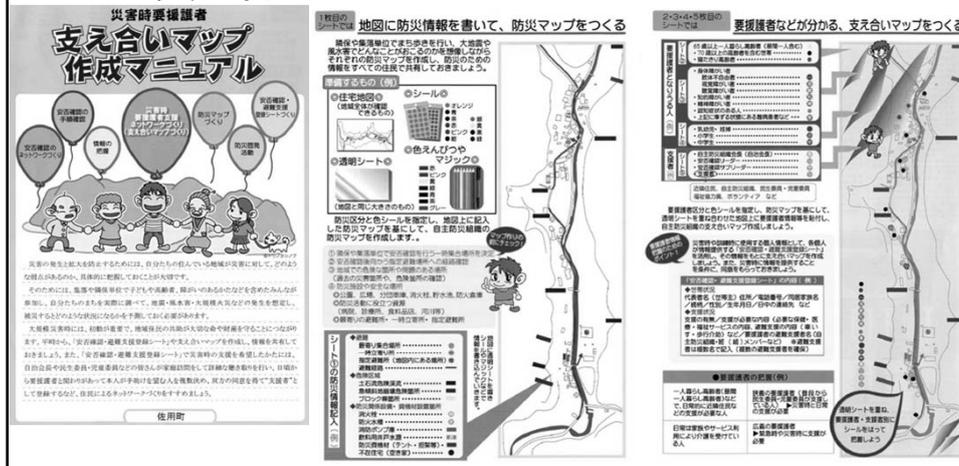
NHK

ぼうさいマップを作ろう

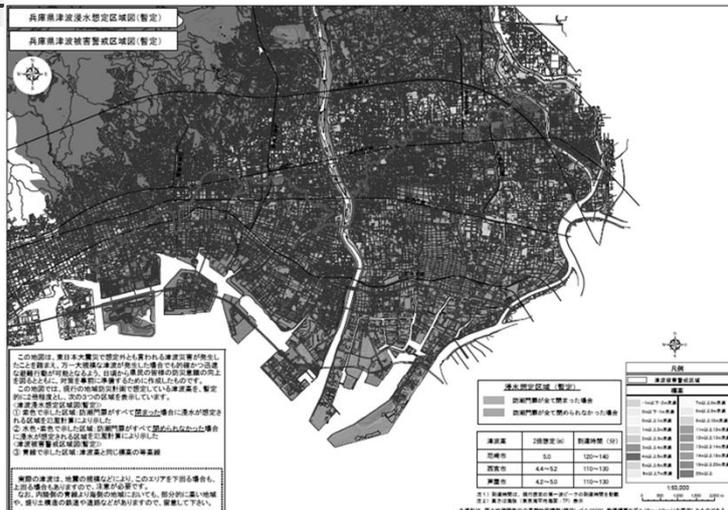


地域における情報伝達と避難誘導 (災害時要援護者: マップ)

■ 支え合いマップ



津波の浸水 (阪神地域)



南海トラフの地震による津波 (津波浸水想定)

■ 病院や福祉施設からの移動

《災害時要援護者避難における課題》

- ① 夜間や豪雨時での避難は二次災害(風邪、怪我等)を招く恐れが高い



大規模水害対策に関する 専門調査会報告より



避難するのも、リスク

減災情報 防災情報 (放送メディア、通信メディア)

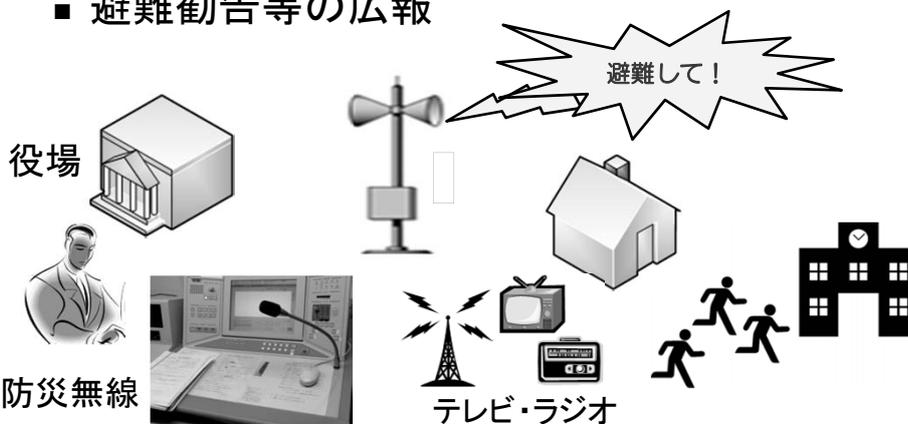
地域の詳細な情報

- 放送
 - ローカルFMで受信
 - テレビのデータ放送で受信
- 通信
 - 役場からのメールを携帯で受信
 - 地域情報を取りに行く
 - 地域情報をみんなで作る



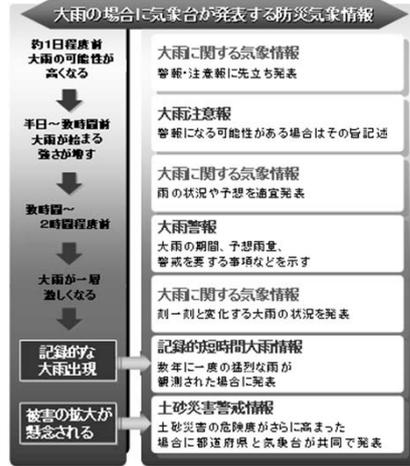
防災情報 (避難勧告など)

- 避難勧告等の広報



災害情報の伝達には、音声情報が多く利用されている。

防災情報 (気象警報)



各種防災気象情報のタイミングの例

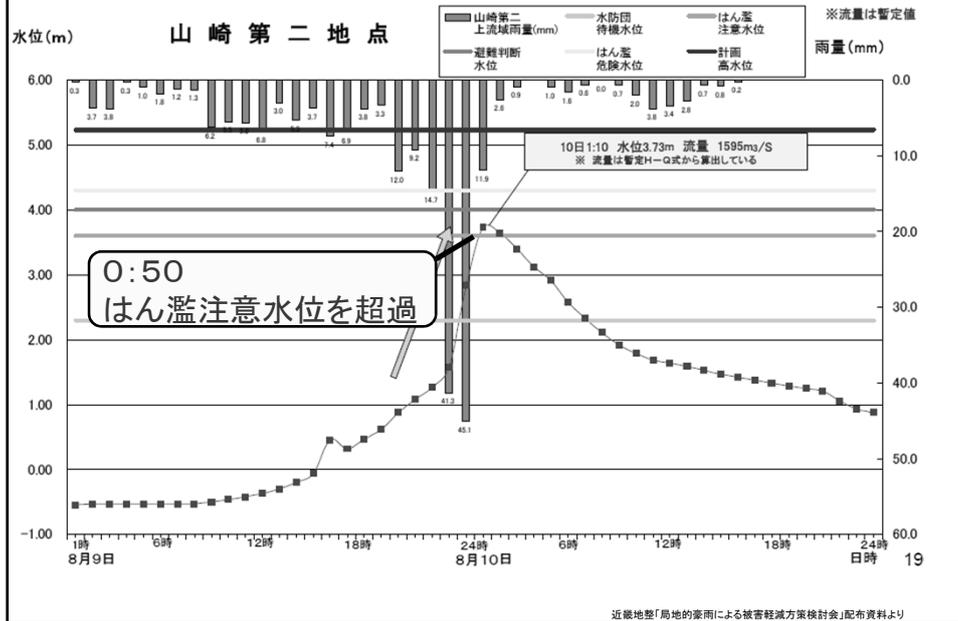
防災情報 (河川情報: 危険な水位の目安)

武庫川の水位と避難の目安

各水位観測所における水位と避難情報の発令との関係は右の表のとおりです。



揖保川上流



揖保川上流洪水予報 第1号

洪水注意報(発表)

平成21年8月10日1時20分

姫路河川国道事務所・神戸海洋气象台 共同発表

揖保川上流 はん濫注意水位に到達 水位はさらに上昇

主文

はん濫注意水位(レベル2)に到達しました。

水位はさらに上昇する見込みです。今後の洪水予報に注意して下さい。

揖保川の山崎第二水位観測所(兵庫県宍粟市山崎町)では、当分の間はん濫注意水位を超える水位(レベル2)が続く見込みです。

引き続き、洪水に関する情報に留意して下さい。

...

揖保川上流の水位は、10日3時頃には、

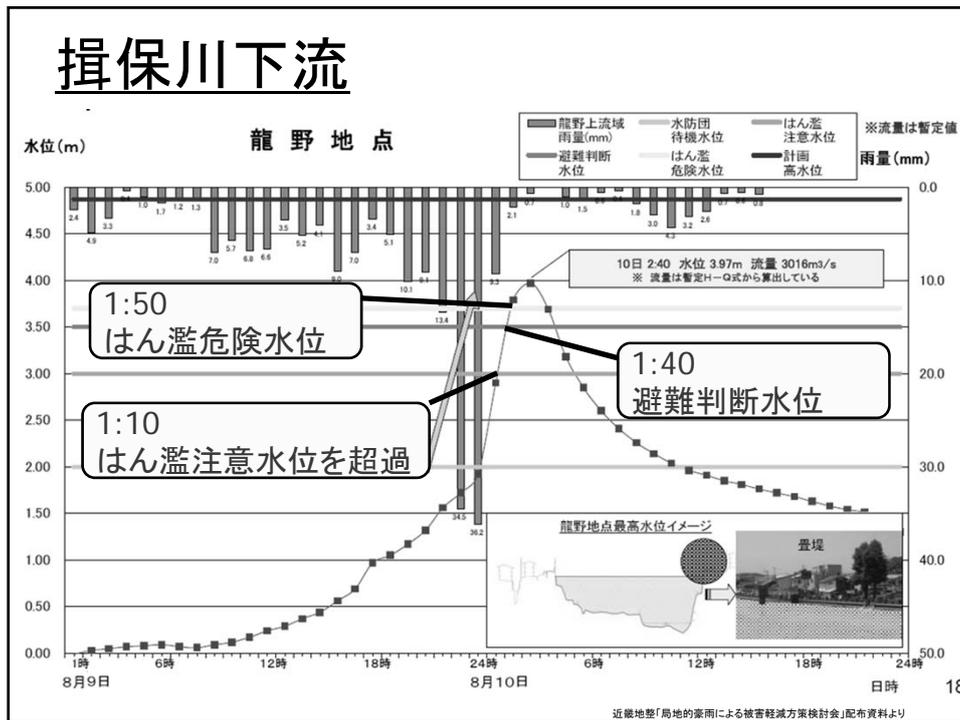
次のとおりと見込まれます。

山崎第二水位観測所(兵庫県宍粟市山崎町)で3.82m程度

(水位危険度レベル2)

※ 避難判断水位 4.00m はん濫注意水位(警戒水位)3.60m

揖保川下流



揖保川下流洪水予報 第1号

洪水警報(発表)

平成21年8月10日1時55分

姫路河川国道事務所・神戸海洋気象台 共同発表

揖保川下流 避難判断水位に到達 水位はさらに上昇

避難判断水位(レベル3)に到達しました。

水位はさらに上昇する見込みです。

市町村からの避難情報に留意して下さい。

揖保川下流洪水予報 第2号

洪水警報

平成21年8月10日2時45分

姫路河川国道事務所・神戸海洋気象台 共同発表

揖保川下流 はん濫危険水位に到達 はん濫のおそれあり

はん濫危険水位(レベル4)に到達しました。

はん濫するおそれがありますので、各自安全確保を図るとともに、市町村からの避難情報に留意して下さい。

水害に対する情報 (国交省:川の防災情報)

■ 河川データを リアルタイムに閲覧

(携帯版)《川の防災情報》
の”URL”および”QRコード”で
す。ご利用ください。

<http://i.river.go.jp/>



10分ごとに、
自分の家の近くの
川の様子が分かります



■ テレメータ/兵庫県

● 雨量・水位・水質・積雪
(地域選択)

○ 南部

- [1] 阪神
- [2] 北播丹波
- [3] 播磨北西部
- [4] 播磨南東部
- [5] 播磨南西部
- [6] 淡路島

○ 北部

- [7] 但馬北部
- [8] 但馬南部

■ テレメータ水位

甲武橋(自治体)
武庫川
07/26 20:40 現在

現在水位: 0.74m

水防団待機水位: 2.20m
はん濫注意水位: 3.20m
避難判断水位: 3.80m
はん濫危険水位: 4.50m

■ 1時間履歴 水位m 増減

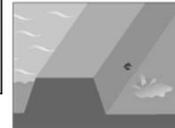
20:40	0.74	→
20:30	0.74	↓
20:20	0.75	→
20:10	0.75	→
20:00	0.75	→
19:50	0.75	→
19:40	0.75	→

<http://i.river.go.jp/>

防災情報 (避難勧告等)

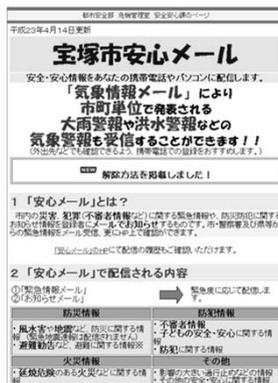
■「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」H17.3

避難準備情報	<ul style="list-style-type: none"> ・要援護者(避難に時間を要する者)は、計画された避難行動を開始 ・避難支援者は、支援行動を開始 ・上記以外の者は、...避難準備を開始
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の避難行動ができる者は、計画された避難所等への避難行動を開始
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> ・未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移る ・そのいとまがない場合は、生命を守る最低限の行動



1. 水が来る前に逃げるために (役所からの情報をとる)

■ 携帯電話メールサービス



ひょうご防災ネット

「ひょうご防災ネット」は、防災行政無線、広報車等の既存の情報伝達手段に加えて、近年普及がめざましい携帯電話のメール機能、ホームページ機能を利用して、県民・市民に直接、緊急情報(地震情報・津波情報・気象警報・土砂災害警戒情報)、避難情報等を発信するシステムです。

兵庫県下の市町ごとにホームページのサイトを設け、大災害等の緊急時に、いち早くその情報を県民・市民の方々に伝達いたします。

登録者には、兵庫県や市町からの緊急情報や地震情報・津波情報・気象警報・土砂災害警戒情報をメールで送信しますので、市町や県民局のホームページから登録下さい。

緊急情報の配信を希望される方は下記アドレス、もしくはQRコードでアクセスしてご登録下さい。

<http://bosai.net/>

【県民局と市町】

- 1 神戸地域
- 2 阪神南地域
- 3 阪神北地域
- 4 東播磨地域
- 5 北播磨地域
- 6 中播磨地域
- 7 西播磨地域
- 8 但馬地域
- 9 丹波地域
- 10 淡路地域

multilingual websites
兵庫県立聴覚障害者情報センター

携帯メールで、防災情報を発信

水害に対する情報 (河川洪水予報)

ひょうご
防災ネット
ひょうご防災ネット

■河川洪水予報配信対象河川追加

2010/09/07より「河川洪水予報」のメール配信対象に下記の河川を追加しました。

- ・千種川
- ・武庫川
- ・猪名川

メール登録内容に追加いただき、防災情報として役立てていただければ幸いです。

■受信登録方法について
各団体トップページの【情報メール受信登録】よりお進みいただき、気象情報メールの変更・解除よりご希望の情報をご登録ください。

■河川洪水予報メールとは？
河川洪水予報は、国や都道府県が管理する河川のうち、洪水により国民経済上重大な損害を生ずる河川について、国土交通省または都道府県と気象庁が共同で、指定河川の洪水の予報を発表するものです。

ひょうご防災ネットからは下記の8河川について配信いたします。

口市川、千種川、武庫川、円山川、出石川、加古川、揖保川、猪名川の8河川

テレビでのデータ放送画面 (避難勧告情報)

地上デジタル放送を活用した災害・防災情報提供に関する検討会報告書(NHK京都 画面イメージ)

緊急・災害 あなたの街の情報 **岡崎市**

以下の地域に、避難勧告がでました。
お近くの避難所に避難してください。

武庫川南部

緊急速報

対策本部

避難勧告

避難指示

避難準備

開設避難所

上六名1丁目	6/20 11:30
上六名2丁目	6/20 11:30
戸崎町	6/20 11:30
羽根町	6/20 11:30
青木町	6/20 11:30
上里1丁目	6/20 11:30
上里2丁目	6/20 11:30

1/2
他の地域を見る
緊急災害・トップ
NHKトップ

町丁目ごとに、
細かく 発令地区を表示

1. 水が来る前に逃げるために (役所からの情報をとる)

洲本市役所から

災害情報(さいがいじょうほう)FAXのお知らせ



洲本市役所(すもしやくしょ)から、大雨や台風などで災害が予想されるときは、みなさんに危険を知らせるためにFAXをつけて情報をお伝えします。



☆ 日頃から、災害情報FAXがきたらまずどうするべきか、どうしたら自分の安全が守られるかよく考えて、市役所や地域のひとたちと相談しておいてください。

○災害の状況によっては、たとえ夜中でもFAXを送信することになります。
○洲本市内でも、自分の住んでいる地域とはなれたところの情報が届くことがあります。どこの地域のことが注意して判断してください。



天気がおかしいなと感じたら、テレビで天気予報などに注意してください。

洲本市総務部消防防災課

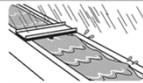
桑間、物部、桑間1丁目、上加茂、下加茂地区、桑間1丁目、宇山、納に、「避難準備情報」が出ました。
家の2階や、近くの高い建物に行きましょう!!

屋まで、大雨が降り続きそうです。



川の水が上がっています。

もうすぐ、水があふれるかもしれません。



近くの家は、水が流れてきて、危険です!



2階のある家の人、

自宅の2階に上がって下さい。

2階のない家の人、

近くの高い建物に、行って下さい。



今年、洲本市役所から、台風第15号の際に、発信されています

確実な伝達・わかりやすい情報 (エリアメールの活用)

■ エリアメール

■ 基地局から、強制的に、一斉同時送信



災害・避難情報の仕組み

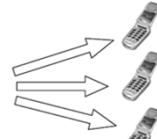
国・地方公共団体



送信内容	
避難情報	土砂災害
津波情報	弾道ミサイル
噴火情報	その他...



携帯電話のサーバー



対象エリアの携帯電話

「避難情報」に加入しませ

ます。回線混雑の影響を受けず
特定エリア内にある携帯電話の
通知します。

エリアメールの活用 (宇検村の対応状況1)

■ 津波警報

- 9:33 津波警報発表
- 9:50 防災無線による放送
- 10:20 エリアメールの発信1(第一報:津波警報)



津波警報について

奄美諸島に津波警報が発表されました。
津波の到達予定時刻は、午後2時30分頃、
津波の高さ約は2メートルとなっております。
到達予定時刻が早まることもありますので、
海岸・河口には絶対近づかないでください。



39

エリアメールの活用 (宇検村の対応状況2)

■ 避難勧告

- 12:15 避難勧告発令
防災無線、エリアメール発信2(避難勧告)



津波接近に伴う避難勧告

津波警報に伴う、避難勧告のお知らせです。
津波接近に伴い、午後1時30分までに、
各集落の避難所に避難を完了してください。
避難する際は、火の元を確認し落ち着いて避難してください。
避難指示が解除されるまでは、
海岸や河口には近づかないでください。



40

エリアメールの活用 (宇検村の対応状況3)

■ 注意喚起(到達予想時刻前)

14:15 エリアメールの発信3(津波到達予想の注意喚起)

14:20 防災無線による注意喚起

14:30 (津波第一波到達予想時刻)

避難勧告

まもなく津波の到達予定時刻です。

高台に避難してください。

避難勧告が解除されるまでは、

海岸・河口に近づかないでください。



41

エリアメールの活用 (宇検村の対応状況4)

■ 注意喚起(津波到達予想時刻後)

14:30 (津波第一波到達予想時刻)

15:25 エリアメールの発信4(避難継続の呼びかけ)

16:20 宇検海岸で10cmの津波を観測

避難勧告継続

津波の到達予定時刻を過ぎていますが、

津波を確認できませんので、

避難所に待機しててください。



42

エリアメールの活用 (宇検村の対応状況5)

■ 避難勧告解除

19:00 避難勧告解除

エリアメール発信5(避難勧告の解除)、防災無線

23:36 警報が注意報に切替

タイトル: 避難勧告解除

継続して出されていた、避難勧告を解除します。

「津波警報」は解除されていませんので、

引き続き海岸・河口には近づかないで下さい。

今後も防災無線やテレビ・ラジオの情報に注意して下さい。

43

住民による情報収集・共有 (猪名川河川事務所)

■ モニター制度(自治会長など)

① 依頼文書と浸水状況の
写真等をメールします

② 写真等をみて浸水状
況を確認してください

③ 携帯電話にて、浸水状況
等を回答してください

④ 集計後、実験結果をお
知らせします



猪名川河川事務所



実験当日の流れ



携帯画面のイメージ



事前に登録・訓練したモニターからの入力

市民みんなで情報収集・共有 (ウェザーニュース)

■ 名古屋市・大阪府



登録モニターと不特定多数からの入力(切替え可)。過去の災害履歴等も閲覧可能

東日本大震災 (臨時災害放送局とは)

- 臨時災害放送局(法的位置づけ)
- 免許主体:自治体 (放送局長は首長)
- 目的:災害被害の軽減
- 免許発行:災害後に迅速に
- 免許期間:通常2ヶ月
- 放送局の形態:
 - 災害後に、自治体や地域市民・団体等が新しく開局
 - 既存のコミュニティFM局が転換 (出力アップなど)

災害の被害軽減のため、臨時に被災自治体において開局

東日本大震災 (臨時災害放送局とは)

- 臨時災害放送局の位置づけ
- 放送内容(災害被害の軽減のため)
 - 緊急情報(沿岸集落への避難勧告など)
 - 生活情報(給水場所、罹災証明、気象情報)
 - 地域の復興
- 放送局の形態:
 - 災害後に、自治体や地域市民・団体等が新しく開局
 - 既存のコミュニティFM局 (出力アップなど)

市民の視点・参加

被災した地域の視点からの放送活動

東日本大震災 (臨時災害放送局とは)

- ラジオは、古いメディアだけれど...
(⇔ CATV、新聞、携帯電話、インターネット)
 - 災害への頑強性(停電)
 - 誰でも触れられる(高齢者)
 - 災害後の迅速な設置・運営
物理的(技術・人員)・資金的に、迅速に
 - 住民主体の街づくりのメディア
(被災者の視点、参加型<出演・運営>)

簡易で耐震性のある、市民参加型の双方向メディア

東日本大震災 (自治体ラジオの開局状況)

■ 臨時災害放送局

多くの被災市町で
ラジオ局が
震災後に開局



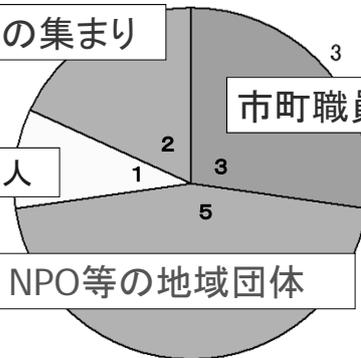
臨時災害放送局の活動 (運営体制)

■ 地域の市民が放送局をつくった



個人の集まり

NPO等の地域団体&個人



市町職員が主に

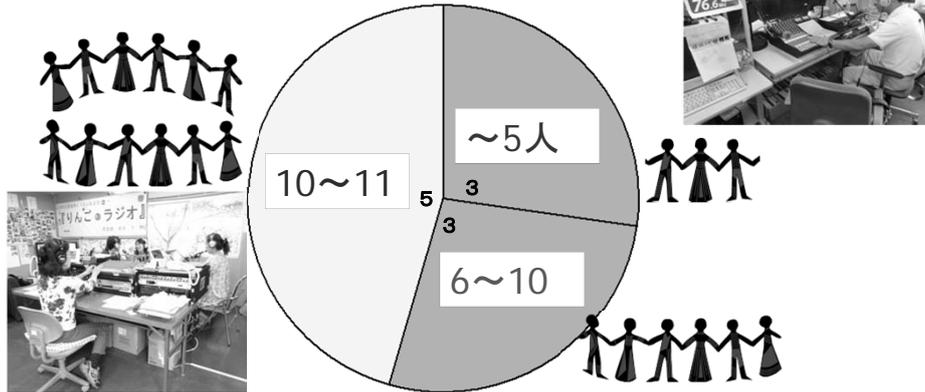
NPO等の地域団体



運営形態は、地元の自治体職員自ら、NPO等の団体が受託、個人の集まり など様々

臨時災害放送局の実態 (運営体制:人数)

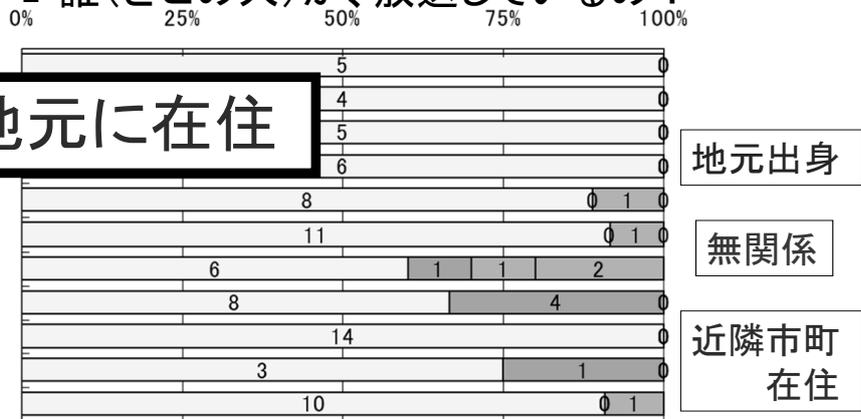
■ 何人で、放送しているの？



スタッフ数は、数名から10名以上まで(4~14)、ばらつき

臨時災害放送局の実態 (運営体制:構成)

■ 誰(どこの人)が、放送しているの？



地元の人々による運営が大半

リスナー調査の概要 (亶理町:FMあおぞら)

- FMあおぞら
 - H23年3月24日開局

亶理町災害ラジオ

FMあおぞら

「震災のまなびに」
79.2 MHz

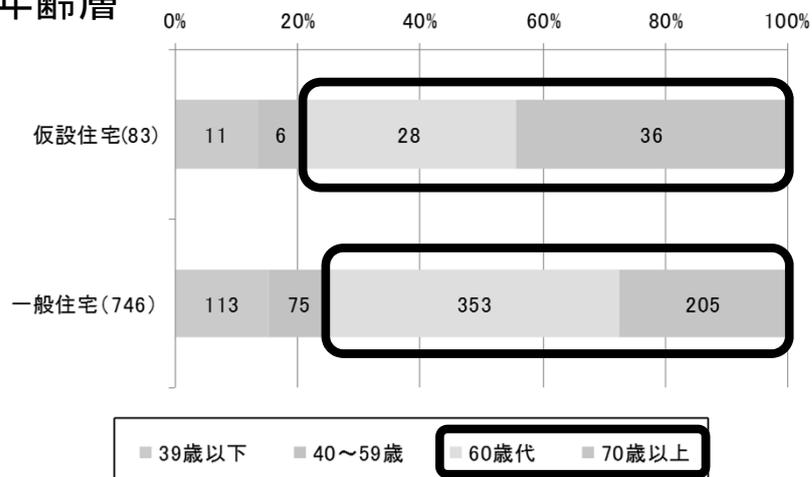
FMあおぞらは、亶理町長を放送局長とする臨時災害放送局です。亶理町の 防災無線の内容を約2分後に繰り返しお伝えしています。防災無線が聞こえにくい場合には、FMあおぞらをお聞きください。

放送時間:午前8時~午後7時
専用電話:0223-32-2293
2時間ごとに情報をお知らせしています。みなさまからの情報もお持ちしています。
場所:役場本庁舎前 案内所プレハブ内



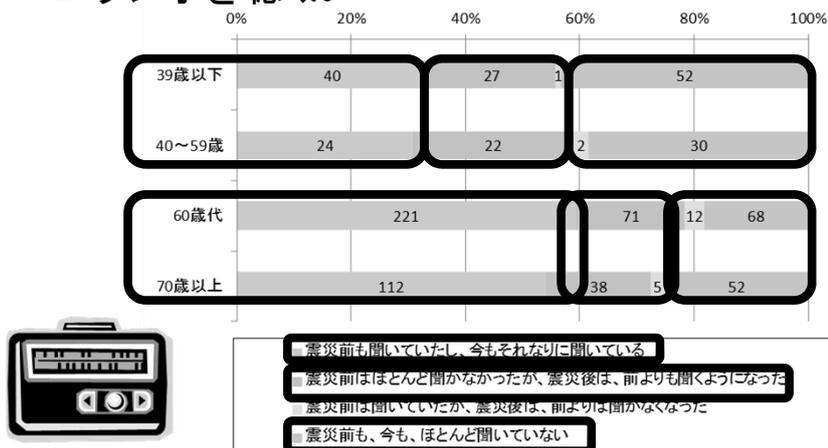
リスナー調査の結果 (回答者属性)

■ 年齢層



リスナー調査の結果 (ラジオへの接触)

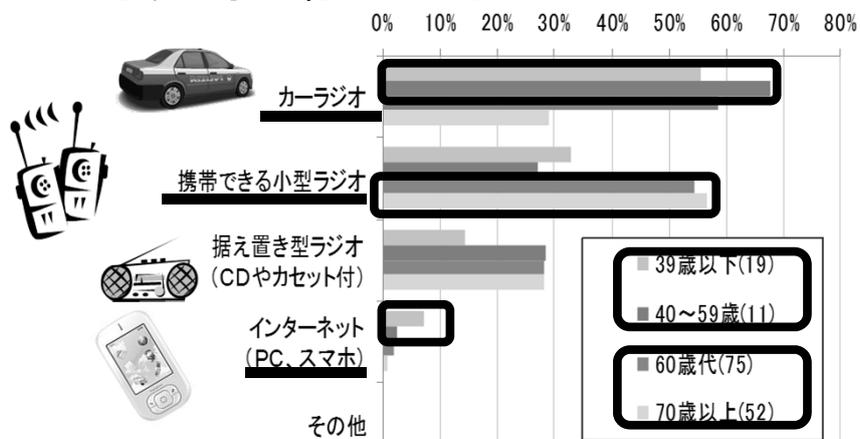
■ ラジオを聴くか



リスナー調査の結果 (ラジオへの接触)

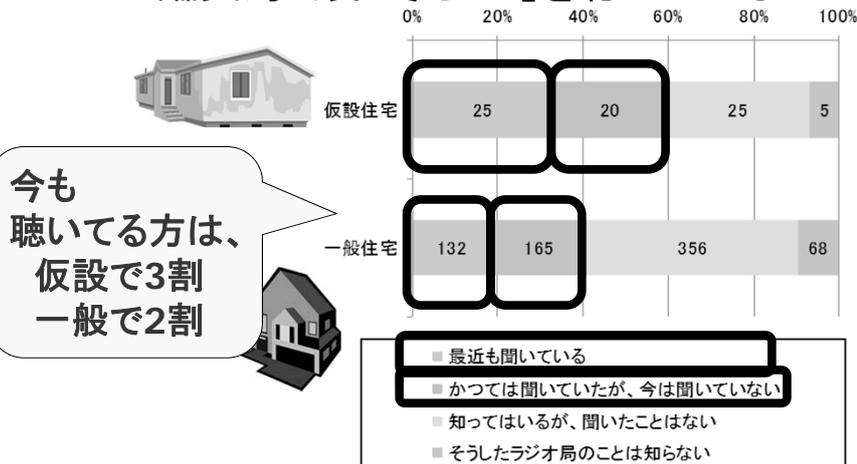
若い方は車
高齢者は携帯ラジオ

■ どんなラジオで聴いているか

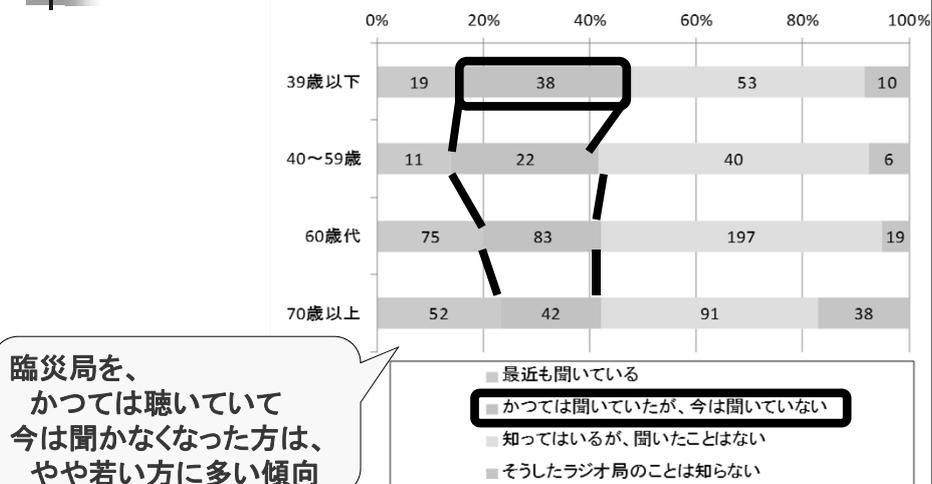


リスナー調査の結果 (臨時災害放送局の聴取)

■ 臨災局「あおぞらFM」を聴いている？



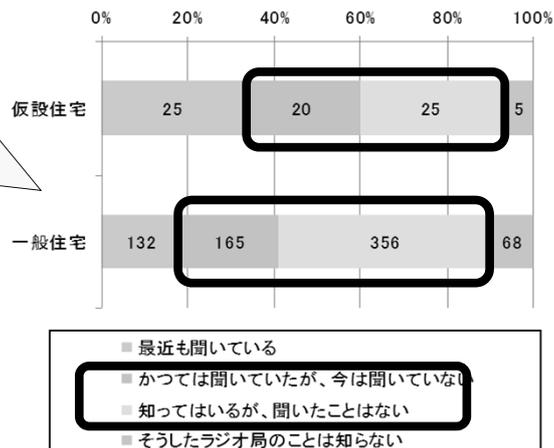
リスナー調査の結果 (臨時災害放送局の聴取)



リスナー調査の結果 (臨時災害放送局の聴取)

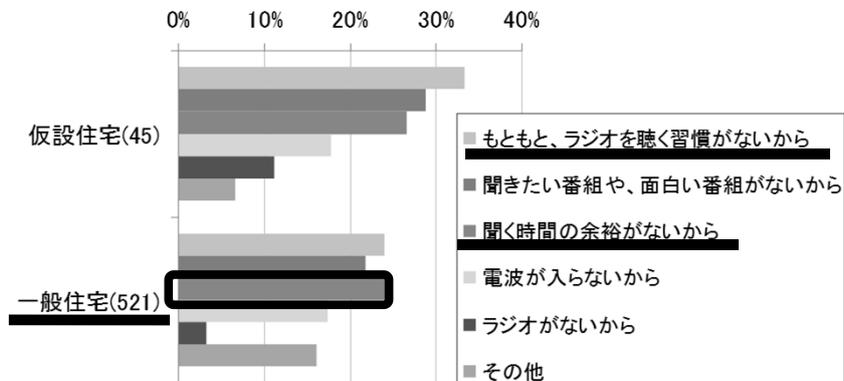
■ 臨災局「あおぞらFM」を聴いている？

存在は、
知っているが、
今、聞いていない方
が過半数



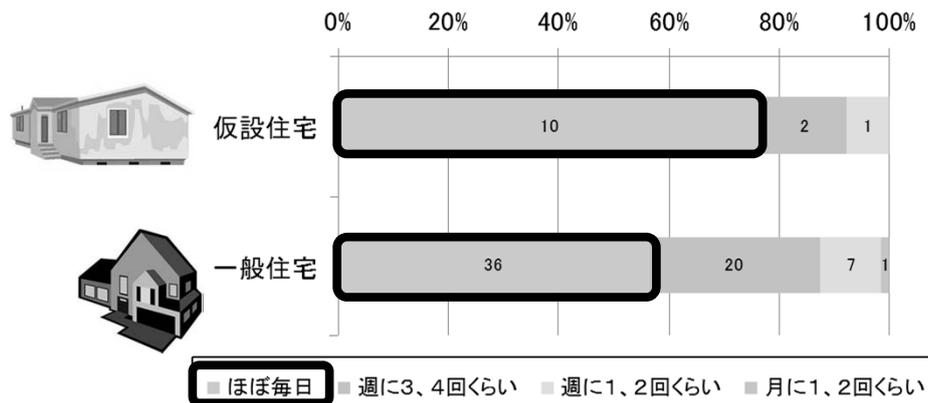
リスナー調査の結果 (臨時災害放送局の聴取)

■ 臨災局を、知ってはいるが、 いま聴いていないのは、なぜ？



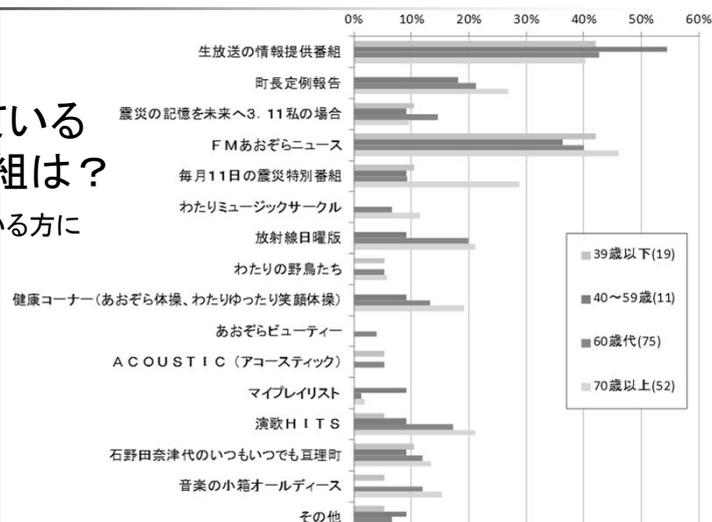
リスナー調査の結果 (臨時災害放送局の聴取)

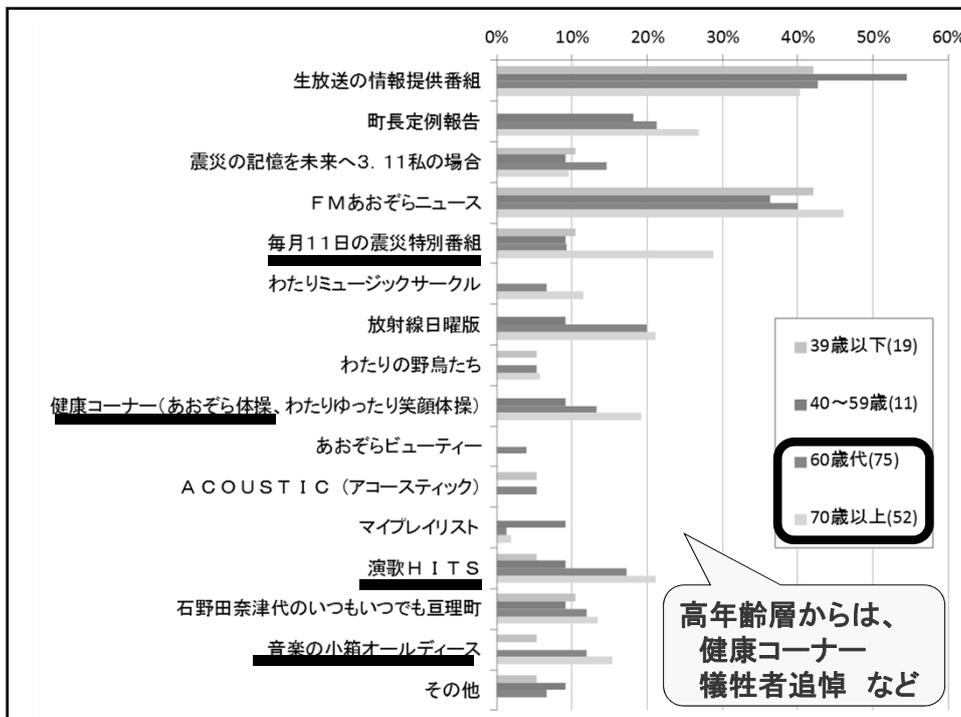
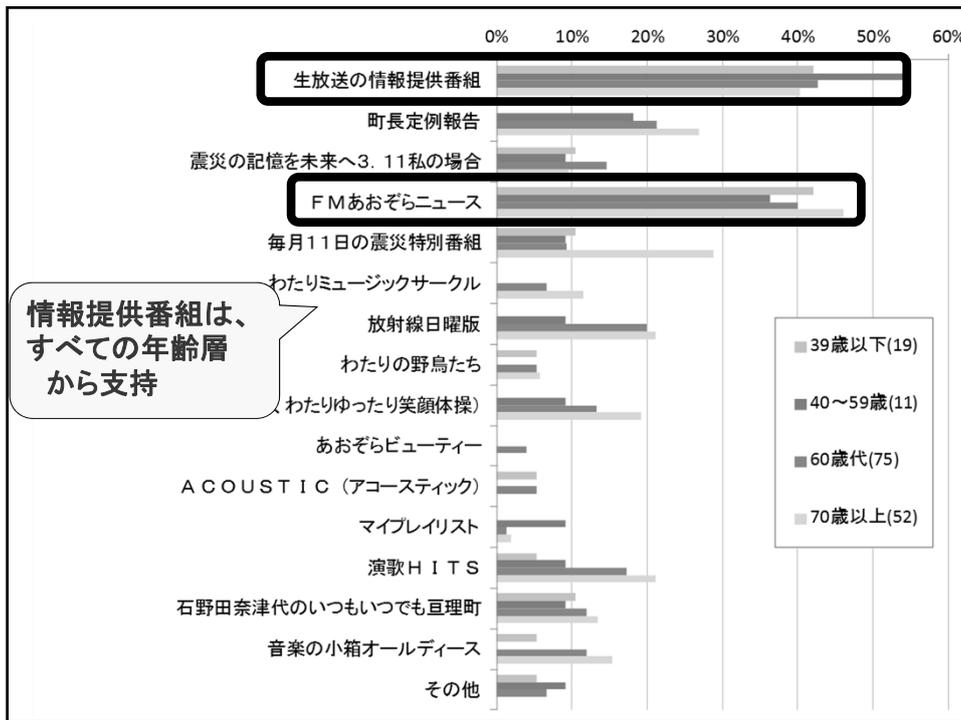
■ どれくらい聴いている？ ※今聴いている方に



リスナー調査の結果 (臨時災害放送局の聴取)

■ いま
聴いている
番組は？
※今聴いている方に

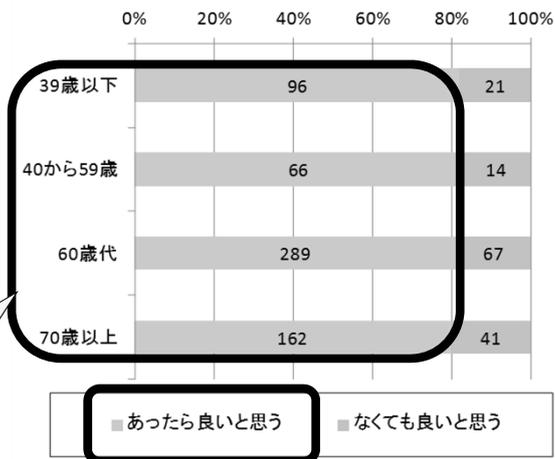




リスナー調査の結果 (臨時災害放送局への評価)

- 今後も、町の情報を伝えるFM局があったら良い?
※全員に

年齢層、居住地区
性別等をとわず、
約8割が存続を希望



■ あったら良いと思う ■ なくても良いと思う

通信により
地域FMが
全国へ放送

お知らせ
SimulRadio
FMX.MX(神戸市)臨時・災害放送局
日本赤十字社災害支援特別番組 1月17日
1200-2200

CSRA.fm
各県イベント・お便り情報はこちら

佐用チャンネル

札幌・福島・全国をつなぐラジオ番組
【カラカラソワカ】
DJ: 321A・話題にしている人3人

321

佐用町のケーブルテレビ (水害からの復興)



住民のつくった復興ビデオを
町のCATVで放送と
インターネットで全国に発信



稲むらの火 (安政南海地震)

稲むらの火



モデル
浜口梧陵
(浜口儀兵衛)

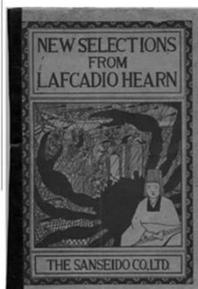


http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamuranohi/siryo_inamura.html

稲むらの火

(A Living God: 3部構成)

・小泉八雲 (島根→熊本→神戸→東京)



A LIVING GOD
FROM Immemorial time the shores of Japan have been swept, at irregular intervals of centuries, by enormous tidal waves—tidal waves caused by earthquakes or by submarine volcanic action. These awful sudden risings of the sea are called by the Japanese tsunami. The last one occurred on the evening of June 17, 1894, when a wave nearly two hundred miles long struck the northeastern provinces of Miyagi, Iwate, and Aomori, wrecking scores of towns and villages, retreating whole districts, and destroying nearly thirty thousand human lives. The story of Hamaguchi Gobei is the story of a like calamity which happened long before the era of Meiji, in another part of the Japanese coast. He was an old man at the time of the occurrence that made him famous. He was the most influential resident of the village to which

1. [Unknown] 2. [Unknown]

- 第1部
- 第2部
- 第3部

稲むらの火

<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/inamura/p5.html>

稲むらの火

(A Living God)

(2部)

浜口五兵衛の話をする前に、明治時代以前に、多くの村の住民の風習について少し説明しなければならぬ。....

災害や緊急時の相互扶助の規則は、どの共同社会の規則の中でも最も権威あるものだった。火事の場合は特に、誰もが自分にできる全力を出して協力しなければならなかった。子供でさえ、この義務から免除されなかった。....

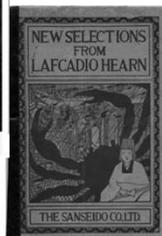
稲むらの火

(A Living God: 3部構成)

・小泉八雲



Lafcadio Hearn



A LIVING GOD
SOME immortal time the shores of Japan have been swept, at irregular intervals of centuries, by enormous tidal waves,—tidal waves caused by earthquakes or by subterranean volcanic action. These awful sudden visitations of the sea are called by the Japanese tsunami. The last one occurred on the evening of June 17, 1864, when a wave nearly two hundred miles long struck the northeastern provinces of Mito, Iwaki, and Aomori, wrecking scores of towns and villages, raising whole districts, and destroying nearly thirty thousand human lives. The story of Minamoto Gohai is the story of a life calamity which happened long before the era of Meiji, on another part of the Japanese coast.
He was an old man at the time of the occurrence that made him famous. He was the most influential resident of the village to which

- 第1部
- 第2部・・・共助
- 第3部



稲むらの火

<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/inamura/p5.html>

稲むらの火

(A Living God)

美しい形で良い色合いになった片田舎の社は、建造物というよりむしろ景色の一部、岩や木と同じくらい密接に自然と一体化した田舎の風景、地の神の表れとして見えるだろう。

多くの小さな神々というのは、何百年か何千年も前に生き、愛し、死んでいった人々の靈魂なのだから。

稲むらの火 (A Living God)



寄作権・野水正朔・南あわじ市

南あわじ市HP
<http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/soshiki/jyohou/syasinkanningyo2.html>



寄作権・野水正朔・南あわじ市